



第142号 2018年7月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

日本ジオパーク認定に再挑戦	P2
NHK「ブラタモリ」萩へ	P3
ふるさと寄付 お礼の品を一新	P5
ズームアップ 松林明(東京都)	P6
元気企業 瀬戸内部品株式会社萩製造所	P8
くちこみグルメ「めしや ぶち」(萩市)	P9
連載 萩の産業遺産を歩く⑦	P10

萩六島と呼ばれる日本海の島々(羽島、相島、尾島、肥島、櫃島、大島)は、それぞれが阿武火山群の火山で、溶岩台地が上部を残して水没した姿です。スイカやブロッコリー、サツマイモの産地としても知られている。

5月26日放映の「ブラタモリ」では、低い台地状の萩六島を火山と見抜いたり、海岸の岩を見て安山岩と気づいたり、新たな視点での萩再発見があった。「萩は火山の町だった！」。

笠山虎ヶ崎から 撮影/榎本洋三(椿東・80歳)

紺碧の海に写して夏の空
萩六島は阿武火山群



萩・明治維新150年祭 萩市で初めて本因坊戦を開催

本因坊戦7番勝負第1局萩対局

囲碁界の七大タイトル戦で最も伝統ある本因坊戦が、萩市で初めて開催された。5月15日、16日の2日間、萩・明倫学舎で国民栄誉賞受賞の井山裕太本因坊が挑戦者の山下敬吾九段と対局した。井山本因坊は囲碁で初めて七冠を2度達成し、今年2月に国民栄誉賞を受賞した。

対局を前に二人は、藤道萩市長を表敬訪問し、「明治維新150年の節目にふさわしい、内容のある対局にしたい」など意気込みを語った。萩市を訪れるのは初めて

という二人は、松下村塾や城下町など維新ゆかりの地を散策した。

第一局の結果は、井山本因坊が挑戦者の山下九段に256手まで白番半目負けを喫した。昨年9月の名人戦第2局から続いていた七大タイトル戦の連勝記録が17でストップした。

藤道市長は「日本のトップ棋士の2日間にあたる集中力を間近でみて、凡人のそれと決定的に異なり、オンとオフとの切り替えが早く、深く、かつ長く続く。近づきたいものである。敗戦こそ、上達の道と感じた」と話している。



対局会場となった萩・明倫学舎の天井裏見学室

萩ジオパーク構想 日本ジオパーク認定に向け再挑戦

日本ジオパーク認定を目指し、萩市や関係団体などでつくる萩ジオパーク構想推進協議会（会長・藤道健二萩市長）は、4月17日、日本ジオパークネットワーク（事務局・東京都）に正会員としての加盟申請書を提出した。認定が見送られた2016年以來の再申請となる。

再申請に向けて

前回は活動目標が不明確との指摘があったことから、昨年12月にジオツアー商品化やガイド養成



笠山の石切り場跡

などをまとめた「萩ジオパーク構想基本計画・実行計画」を策定し、ジオパークによるまちづくりの将来像を明確化した。

ほかに課題となっていた事務局体制は、ジオパーク専門員（白井孝明）を配置するなど人員を8人に倍増した。大学や研究機関との連携では、山口大学教授（脇田浩二）を戦略顧問に迎えた。

テーマは「維新とマグマの胎動の地」

萩ジオパーク構想は「維新とマグマの胎動の地」をテーマとして掲げ、萩市と阿武町の全域、山口市阿東地域が対象。笠山や須佐湾周辺、龍が通った道、長門峡などの大地の成り立ちがよくわかる場所を保全するだけでなく、大地と人の関係性について学び、観光や産業などの経済活動の更なる発展につなげる。1億年間に及ぶマグマの活動でできた大地が、萩の自然や歴史、文化を育んできたことを体感できるまちを目指している。

市全域の活性化のために

藤道市長は、「日本ジオパーク認定は地域の活性化につながる。ジオパーク活動により、各地域が横につながり、共に発展していくことを求めていく。萩ジオマスターに45人を認定するなど、市民の関心も高まってきた。手応えは十分にある」と話している。

5月19日には一次審査となる公開プレゼンテーションが千葉市の幕張メッセで開かれ、藤道市長や花田憲彦・阿武町長など12人が説明、審査を通過した。

今後は、7月30日～8月1日の現地審査を経て、9月に認定の可否が発表される。



プレゼンテーションの様子(5月19日)

むつみ吉部地区に酒米の精米施設が完成 日本酒のブランド化に向けて

萩市と阿武町の集落営農法人12
法人と酒造会社6社でつくる「萩
酒米がき協同組合」が、萩市む
つみ地域のJAあぶらんど萩吉部
ライスセンターそばに酒米精米施
設「萩酒米とう精工場」を整備し、
4月13日に竣工式があった。

萩阿武地域の酒造会社は、これ
まで、酒の雑味の原因となる米の
表層部分を精米時に削る「とう
精」を福岡県久留米市の業者に依
頼していた。今回の施設整備によ
り、酒米の生産から日本酒の醸造
まで一貫して地元でできる。地酒
ブランド力の向上やコスト削減に
つながることが期待できる。



萩酒米とう精工場



精米機の起動スイッチを押す村岡副政知事(左)と山田和男代表理事

新工場は鉄骨平屋建て約320
平方メートルで、最新鋭の酒米専用の
精米機2機を設置。総事業費は
1億2312万円、国や萩市、阿
武町から7千万円の補助を受けた。

萩酒米がき協同組合の山田和
男代表理事は、「萩の酒をブラン
ド化し、日本一の地酒産地にして
いきたい」と意気込む。

今年度は新工場で酒米約300
トの精米を予定、このうち代表的
銘柄の「山田錦」は約160トの
精米を見込んでいます。山口県内の
日本酒出荷量は、10年連続で増加
しているという。

NHKテレビ「ブラタモリ」萩へ 萩はなぜ世界遺産になった？

NHKの人気番組「ブラタモリ」
のロケ地に萩市が選ばれ、4月4
日、桜が咲き誇る時期にロケが行
われ、5月26日に全国放映された。
テーマは「萩はなぜ、世界遺産に
なった？」。

「ブラタモリ」ホームページに
は、萩の町をブラブラした「足跡
マップ」が地図上に掲載されてい
る(萩城下町、城下町が残った理
由、萩反射炉、町割りと夏みかん
の5ルート)。

ブラタモリ、萩へ

萩は、江戸時代の初めまで人が
ほとんど住んでいなかった。大き
な川が作り出した、あまり地盤
のよくない三角州に「からつくら
れた城下町」だった。なぜ、萩は世
界遺産に認定されるような町に
なったのか。そこには、地形や地
質が大きく関わっていた。萩の秘
密を解き明かしていく。

城下町萩が残った理由

■三角州低湿地の開発

三角州中央から北東部にかけて、
標高2メートルに満たないような低地が
ひろがった一帯は、水田やハス田
として利用され、大雨の際には遊
水池としての役割を果たした。大
正14年建築の萩町役場をはじめ、
公共施設や国道など、この低湿地
を近代化施設の用地としたことで、
江戸時代の城下町を大きく変える
ことなく今に伝えることができた。

■城下町を支えた火山

城下町は低湿地を避けて三角州
北側の砂丘上に築かれた。しかし、
不安定な砂の上に町を築くには工
夫が必要だった。それを支えたの
が火山の石(安山岩)であった。
笠山の海岸には石材を切り出した
痕跡が残っている。

萩は笠山をはじめとして小さな
火山が海と陸に約50カ所も点在し
ている。これらは陸上では農地と
して、海では漁場として利用され
様々な形で城下町を支えた。

■夏みかんが守った城下町

明治9年に禄を失った武士の救
済のために、夏みかんの経済栽培
が始まった。その際に、広い武家
屋敷地が夏みかん畑として利用さ

れた。夏みかんが高値で取引され
続けたことよって、屋敷地が畑
として周囲の土塀などととも現
在に伝えられた。

案内役の清水館長に聞きま した

博物館学芸職員やジオパーク推
進課専門員への事前取材が始まっ
たのは、1月下旬のことでした。
担当のディレクターは、「旅番組
の取材」ということで、毎週のよ
うに来萩、市内の多くの方を訪ね
資料や情報を集めておられました。
そして当日は、撮り直し無しの
生中継のような収録で、案内役は、
自然体のタモリさんと世間話をす
るように市内を巡りました。番組
内ではしばしば示されますが、地質
や歴史文化についての博識博字ぶ
りに驚きました。

タモリさんには、訪ねる場所の
情報は事前にまったく伝えられて
いません。案内役には「タモリさ
んにとにかく質問して下さい。説
明しないで下さい」とのリクエス
ト。現地でのタモリさんの発見が、
テレビの前の方に、自らの驚きと
して伝わるのがよく分かりまし
た。

番組で紹介されたのは収録のご
くごく一部でした。放送をご覧に
なった方々の、「萩再発見」のお
手伝いできたことすれば幸いです。
(萩博物館・清水幸館長)



イージス・アショア 国が萩市を候補地として正式に公表

国がミサイル防衛強化策として2023年度の導入を目指す地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」について、6月1日、防衛大臣政務官から山口県、萩市、阿武町に対し、陸上自衛隊むつみ演習場を配備候補地の一つとし、夏以降に配備に係る適地調査を実施したい旨の説明があった。



高俣地区にある陸上自衛隊むつみ演習場

政府は昨年12月19日、北朝鮮の弾道ミサイルに対応するため、国内2カ所に「イージス・アショア」を配備することを閣議決定した。候補地に名前が挙がってから半年（萩ネットワーク3月号に掲載）、イージス・アショアの配備計画について、防衛省は6月1日、山口県庁において村岡嗣政山口県知事、藤道健「萩市長、花田憲彦

阿武町長らに萩市むつみ地域にある陸上自衛隊むつみ演習場を候補地に決めたと伝えた。

最適な候補地とする理由については、日本全土を防衛するため日本海側の南北（秋田市と萩市）に2基をバランスよく配置できる、レーダーなどの運用で、広く平らな土地を確保できる、などを条件に全国の自衛隊施設から選定したと説明した。

村岡知事、藤道市長らは、配備候補地の選定基準、むつみ演習場が最適とされる具体的な根拠とされる具体的な根拠などを求めた。

また、調査の開始前に国が地元説明会を開催し、住民の理解が得られるよう詳細かつ丁寧な説明を強く要請した。

山口県と萩市、阿武町は6月8日、防衛省に宛て、むつみ演習場を最適とした根拠などを文書で照会した。質問は9項目で、配備候補地の選定基準や最適とした理由、レーダーの電磁波が住民の健康や畜産業に影響を与えないとする科学的な根拠などを説明するよう求めた。これを受けて、6月15日に文書による回答があった。

■地元説明会

防衛省による地元説明会が6月17日から19日にかけて萩市（むつみ地域、萩地域）、阿武町で開催された。

配備候補地の選定については、①日本全域を防護するために日本海側の北と西に2基をバランスよく配置する、②なるべく山などの遮蔽がない場所、③約1平方キロ程度の広くて平坦な敷地を確保できる、④電気や水道の安定的な供給が見込めることの4点を踏まえ、全国の自衛隊施設から選んだと説明した。

そのほか、地元住民の生活への影響、レーダーが発射する電磁波の人体への影響など、安全性について強調した。防衛省は「防衛施設の設置には、地元住民の理解と協力が必要だ」と話した。



萩市議会議員を対象にした説明会（6月18日）

至誠館大学に研究拠点をめざす 「松陰研究所」を開設



看板を設置する野村学長（左）と三宅副所長

萩市椿東の至誠館大学が、5月23日、付属図書館内に「吉田松陰研究所」を開設した。松陰関係資料のデータベース化、約900冊の関連書籍の保管・公開、研究所紀要の発行、研究者の調査・研究場所の提供など松陰研究の拠点をめざす。10月21日（日）には明治維新150年記念講演とシンポジウムを開催する。

所長に野村興児学長、副所長に三宅紹宣・広島大学名誉教授が就任した。三宅副所長は「既存の松陰全集に掲載されていない資料もあり、世界情勢を勉強したうえで、独立を保つために攘夷を唱えた松陰先生が現代に伝わっていない。問題提起をしていきたい」と意気込みを話した。

幕末・明治維新の人物ベスト25 吉田松陰が1位

テレビ朝日系列のテレビ番組「Qさま!!」で、「歴史のプロが選んだ『本当にスゴい幕末・明治維新の人物』ベスト25から出題スペシャル」が、4月30日に放映された。

歴史学者や歴史講師など、歴史のプロたちが選んだ人物ベスト25、坂本龍馬や西郷隆盛、吉田松陰、高杉晋作といった激動の幕末・明治維新を生きた英傑たちの知られざるエピソードと人物に関する問題が出題された。

第1位は松下村塾を主宰した吉田松陰。高杉晋作、伊藤博文、山県有朋など維新の志士や政治家をわずか2年で育てたことが評価された。2位は西郷隆盛、3位は坂本龍馬。



吉田松陰自賛肖像・吉田家本（山口県文書館）

ふるさとを大切にしたい、 という気持ちを一つのかたちに。 ふるさと寄付

昨年度は4374件、寄付金額6804万円

よりお気軽に萩市自慢の特産品をお楽しみいただけるようになりました！

萩市では、ふるさと寄付を通じていただいた温かいご支援への感謝の気持ちとともに、より多くの方に、自慢の特産品をお届けしたい、楽しんでいただきたいという思いを込めて、6月1日から、3つの新たな取組を開始しました。

新たな取組①…便利なポイント制度の運用開始！

1万円以上の寄付に対し、寄付額に応じてポイントを発行する、ポイント制度を始めました。ポイント制度の主なメリットとして、

以下の3点をご紹介します。
■好きなタイミングで、いつでもお礼の品の選択ができる！
これまで、希望するお礼の品が品切れであったり、季節外れであった場合、ご希望の品を選択できず残念でしたが、希望するお礼の品の在庫があるタイミングでポイントとお礼の品を交換できるようになりました。

■お礼の品を選ぶか、ポイントと交換するか自由に選択できます！
寄付額分のお礼の品を選択するか、ポイントと交換するか、または、寄付額の一部をお礼の品と交換し、残りをポイントに交換するか3つの選択肢の中からご自由にお選びいただけます。

■ポイントは自動積立できます！
使用されなかったポイントは自動積立となります。次回寄付時に積立されているポイントと併せて利用できます。

※ポイントは有効期限…発行から2年間

新たな取組②…萩市自慢の特産品情報をたっぷりお届け！萩市ふるさと寄付特設サイトを開設！

多くの登録自治体から成り立つポータルサイトとは異なり、萩市だけのふるさと寄付受付サイトです。

存分に萩市の特産品情報や魅力をお伝えできるよう、旬な情報を発信していきますので、是非ご覧ください。

新たな取組③…ふるさと納税ポータルサイト「ふるなび」での受付を開始！

現在ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」に登録していますが、より幅広い寄付者層に対し萩市の魅力をお伝えできるよう、ポータルサイト「ふるなび」に登録しました。

萩市自慢の特産品をよりお気軽に楽しんでいただけるよう、以上3つの新たな取組についてご紹介しました。これからも萩市ふるさと寄付への変わらぬご支援を、よろしく願っています。

■問い合わせ
萩市企画政策課

(0838・25・3102)



見蘭牛ロースステーキ
毎月個数限定の人気のお礼の品

4月からお礼の品を一新しました！

平成29年度は、1万5,000円以上の寄付に対して、一律の価格設定によるお礼の品を送付していましたが、平成30年度からは、1万円から30万円まで、10段階の寄付額区分に応じ、さまざまな萩の地場産品をお礼の品として取り扱うこととしました。返礼品数は265品目となり、昨年度の134品目から大幅に増加しました。

【寄付額に応じたお礼の品の一例】 ※平成30年4月2日～

1万円以上	相島スイカ（秀品）、むつみ豚ハンバーグ、須佐男命いか ほか
2万円以上	萩の真ふぐ刺身（2皿）、ごぼう巻セット ほか
3万円以上	見蘭牛ヒレステーキ（3枚）、旬の高級魚干物セット ほか
4万円以上	萩の鮮魚セット、長萩和牛すき焼き ほか
5万円以上	萩の地酒飲み比べセット、九郎米特選玄米30kg ほか
10万円以上	1泊2食付ペア宿泊券、萩焼番茶器セット ほか
15万円以上	萩焼白萩お預け酒器、萩城下町人力車体験（メイク・ヘア・着付け付） ほか
20万円以上	季節の野菜・果物定期便、萩の地酒定期便 ほか
25万円以上	※調整中
30万円以上	《昭和天皇陛下の御宿泊所に泊まる！》1泊2食付宿泊券 ほか



萩の真ふぐの刺身
29年度人気No.1のお礼の品

まつばやし あきら
松林 明さん

(神奈川県在住、69歳)

NHK「さわやか自然百景」で

「阿武火山群」「長門峡」を制作



アリゾナ・ソノラ砂漠にて

祖父は日本画家・松林桂月
私の祖父松林桂月は、明治9年、萩の中渡(現・山田)で生まれました。そして18歳で画家を志し上京。以来、87歳で亡くなるまで、東京画壇を中心に画業を続け

てきました。そんな祖父と、私は15歳になるまで、同じ家で過ごしました。私が記憶している祖父は、長州人としてのプライドが大変高く、また、頻繁に山口へ帰郷していました。やはり、望郷の念が強かったのでしょう。

私は、「ダーウィンが来た!」や「ワイルドライフ」など、テレビの自然系ドキュメンタリーのディレクターとして、1年の多くの時間を世界の辺境の地で過ごす生活を30年以上も続けてきました。そのため私自身は、長らく山口を訪れる機会がほとんどありませんでした。

それが、再び山口と深い絆ができたのは、祖父の没後50年にあたる平成25年、山口県立美術館と萩博物館で、相次いで回顧展が開催されたことによります。このとき、祖父ゆかりの方々とお会いできたことは、私にとって大きな喜びでした。

萩を舞台にした2本の「さわやか自然百景」さらに、それがきっかけで、萩を舞台にした2本の「さわやか自然百景」という番組もつくることができました。

さらに、それがきっかけで、萩を舞台にした2本の「さわやか自然百景」という番組もつくることができました。

それは、萩博物館副館長(当時の樋口尚樹氏から、萩には文化だけでなく、大変ユニークな自然もあるというお話を伺ったことによりです。「阿武火山群」という世界でも類のない小火山の集まりで、それらの活動無くして今の萩は存在しなかったとのこと。この貴重な自然を保全すべく、日本ジオパークへの登録を目指しているというのです。内外の自然を数多く見てきた私も、不覚にも全く知りませんでした。取材にあたっては、ジオパーク推進室や萩博のスタッフの方々の献身的なご協力をいただき、このユニークな自然を紹介することができたのです。

最後に、最も感動したことがあります。取材の途中立ち寄った郊外の小学校に、児童のつくったひとつの川柳が掲示されていました。

「画用紙に夢を描いたら はみ出した」
これを読んで、胸が熱くなりました。祖父桂月が心から愛した萩の自然の大きな夢を育んでいく。それは、世界のどんな大自然にも負けない宝物なのです。



祖父桂月と6歳の私(昭和29年)



斉藤武男さん
(撮影・下瀬信雄)

昭和10年生まれ、明倫小、明経中、萩高校昭和29年卒(6期)。昭和48年にぎやらりい彩陶庵を開業。陶芸家に限らず画家、彫刻家などの個展を開催し、多くの作家を育てた。平成18年の萩市文化協会の設立時に初代会長、平成27年に山口県選奨を受賞。

斉藤武男さんを偲ぶ会 萩焼文化を地方から中央に発信

萩市呉服町の「ぎやらりい彩陶庵」の創業者、斉藤武男さん(83歳)が2月21日、病気で死去され、「偲ぶ会」が4月28日に松陰神社の立志殿で行われた。

萩市文化協会の有富美子さん、萩陶芸家協会の三輪休雲会長らが発起人となり開催、約200人が出席した。三輪休雲さんは「萩焼への熱い思い、気さくな人柄など、萩の作家を中央に押し出す大きな力となった」とスピーチ。

斉藤武男さんは、陶芸を中心とした文化、芸術の啓発活動に尽力され、萩焼が世界に通じる芸術として多くの企画展に携わり、県美展の運営委員など、山口県内有数のアートコーディネーターとして活躍された。昭和56年には萩国際彫刻シンポジウムを企画開催、今も堀内の石彫公園として親しまれている。

昭和10年生まれ、明倫小、明経中、萩高校昭和29年卒(6期)。昭和48年にぎやらりい彩陶庵を開業。陶芸家に限らず画家、彫刻家などの個展を開催し、多くの作家を育てた。平成18年の萩市文化協会の設立時に初代会長、平成27年に山口県選奨を受賞。



△猿溪瀑布にて



△松林桂月「長門峡」(昭和26年)
(猿溪瀑布を描いたもの)

道の駅・萩往還 農産物直売所

「菜々色マルシェ通信」

真夏のシンボル 「相島スイカ」

夏休みまであと何日?と、子どもたちが指折り数える今日この頃、「菜々色マルシェ」の店頭には大きなスイカがたくさん!

水はけの良い火山性の土壌に、島ならではの日当たりの良い地形。スイカ栽培に最適な条件の揃った相島で、ミネラル豊富な海風を受けながら、一株から厳選された一果だけを残す「一株一果どり」という手法で丹精こめて育てられる相島スイカは、生産量は山口県内一、品質は最上級。萩を代表する農産物のひとつです。

相島スイカ「甘泉」

実は、相島スイカには3つの品種があります。スイカならではの、シャリシャリした食感が特徴の「祭は



相島スイカ 3000円～
全国配送・ギフト対応承ります

やし」と「紅大」。この2つの品種は相島スイカのほとんどを占め、萩市内外の多くの店頭で見かけることができますが、対極的な品種がもう一つ。

果肉が緻密で糖度が高く、クリーミーな食感とココクのある甘みが楽しめる「甘泉」は、相島内でも生産者が2軒程度。生産量が極めて少ない品種ですが、繊細な食感が生み出す高級感からご贈答用にも人気です。菜々色マルシェは「甘泉」の生産者坂倉さんから直接入荷。店頭にもたくさん並んでいますよ。

海水浴に花火大会、お盆の里帰り。夏の楽しい思い出のそばにはいつもスイカがあります。幼き頃の幸せな夏の思い出とともに、ふるさと萩の「相島スイカ」をお楽しみください。

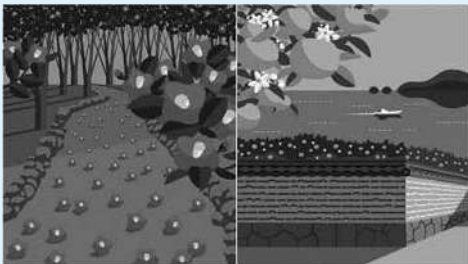
道の駅萩往還
萩市椿鹿背ヶ坂1258
TEL0838-222-9889
WEB「道の駅萩往還」で検索

道の駅萩往還の新商品

萩に旅する入浴剤

「萩かおり風景の湯」

5月の萩城下町。学生服に身を包み、自転車に通学しながら



▷入浴剤「萩かおり風景の湯」各135円(税込)
萩城下町夏みかんの花(右)
萩椿の小径(左)

萩のまち並みと共に感じたあの香り。

萩には環境省「かおり風景百選」に山口県で唯一選定された「萩城下町夏みかんの花」があります。新商品「萩かおり風景の湯」は萩の代表的な情景を香りでご表現したぜひたく処方入浴剤シリーズです。

人間の五感の中でも、嗅覚は人の記憶に最も影響を与えられ言われます。お風呂にゆっくり漬かりながら、思い出のあの場所へ想いを馳せる。そんな小旅行を楽しんでいただけます。

パッケージは関連する萩の風景をグラフィックデザインで表現。新しい「萩のお土産」として、多くの方々に喜ばれます。

瀬戸内部品 株式会社

代表取締役社長

の ず え た け よ し

野末 武由 さん

(59歳)



左から萩製造課課長・西嶋久芳さん、代表取締役社長・野末武由さん、山口工場山口製造部部长・吉津龍夫さん

誰もがどこかで見たことがある「YAZAKI」の会社ロゴマーク。ワイヤーハーネスでは世界トップクラスのシェアを誇り、タコグラフ、タクシーメーター、電線、ガスメーターや太陽熱温水器など、社会に必要な製品の研究・開発・製造・販売までをグローバルに展開する企業・矢崎総業株式会社。

現在、そのグループ会社は国外に45カ国100法人、国内では全国各地に66法人。連結従業員数は28万余名です。山口県には1984年に山口部品株式会社を設立し、翌年85年には萩製造所を開設。2012年に岡山部品株式会社と合併し、現在は瀬戸内部品株式会社として事業を展開しています。

その瀬戸内部品株式会社を訪問し、代表取締役社長・野末武由さん、山口工場（美祢市美東町）山口製造部部长・吉津龍夫さん、同部萩製造課課長・西嶋久芳さんにお話を聞きました。

吉津さんは萩工業高校昭和56年卒（長門市出身）、西嶋さんは萩商業高校昭和59年卒（油谷町出身）。

社会に必要なもの

「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」が社是である矢崎総業株式会社は1941年に、自動車用電線を販売する会社を創業社長である矢崎貞美が設立したところから始まり、その後、1945年から一般電線の生産を開始し、50年より自動車用メーター、60年よりタコグラフを生産。世界が車社会へと変わり、経済が発展しインフラ整備が進むその裏方を支えながら発展してきた会社です。

また、社是の精神は、社会から

必要とされる製品を製造し販売していくというだけでなく、人が生活していくために必要な働く場を創出し、継続することも含んでおり、その理念のもと、日本各地だけでなく、世界各国に拠点を設立しています。

時代の流れの中で

山口部品株式会社の主たる事業は、自動車の電源供給や信号通信に用いられる複数の電線を束にしたワイヤーハーネスの製造で、萩製造所は製造工場として設立されました。

ワイヤーハーネスは、言わば自動車における神経や血管のようなもので、必ず必要なものではありませんが、自動車の需要などにより、受注は変動します。現在、萩製造所では国内カーメーカーのワイヤーハーネスを製造しており、お陰さまで忙しくさせてもらっています。

とはいえ、ワイヤーハーネス製造は海外にシフトしており、国内の生産量は下がっています。合併もその方向性に沿ったものではあります。矢崎の「人を大切に」「従業員を解雇しない」という考え方はグループ会社にも引き継がれ、合併に伴いやむなく閉鎖した長門製造所の社員は、萩と美東に転属していただきました。

次代に向けて

ワイヤーハーネス製造の海外シフトは進んでいます。当社は製造だけでなく、その設計も行っています。さらに、ガスの配管工事や訪問介護などの事業も積極的に展開しています。

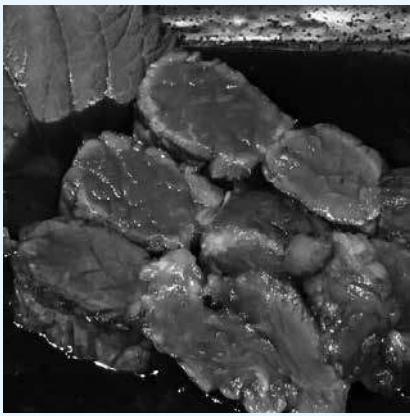
次代に向けて、地域の雇用を守ることが我々に課せられた使命です。一方で、萩のように生産者人口が著しく減少している地域では、人材を確保することが難しくなっています。しかしながら、当社では萩商工高校から2015年に1名、18年にも1名採用いたしました。

原点回帰

地元出身者の人口が流出していることに反し、自動車部品サプライヤーの方なども、視察場所に好んで萩を選ばれます。それは、萩製造所の視察だけではなく、萩そのものの魅力が「萩に行きたい」と思わせているのだと思います。魅力のあるものには人は惹きつけられます。萩が市外の方だけでなく、地域の方からも魅力あるものになり、萩製造所が市内外から魅力のある工場になれば、製造工場の中でも萩製造所を選んでくださり、更には雇用を確保できるようなものではないかと考えます。そのためにも、原点回帰し、矢崎

和食創作料理の居酒屋

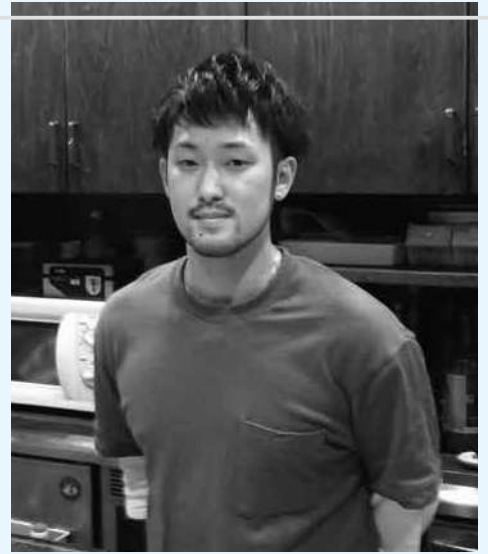
めしや ぶち



牛サガリのタレ焼き



もつ煮込み



店主の戸川将吾さん

◆ちよつと手の込んだ料理を安く提供する居酒屋

提供する料理は和食を中心としたオリジナリティ溢れる創作料理。もつ煮込み、牛スジ煮込み、鶏唐揚げ、等々、居酒屋メニューの定番であっても一手間二手間かけ、「ぶち」ならではの逸品に仕上げ提供しています。

また、とりそばろのクリームチーズやもち豆腐(呉豆腐)、丸腸の唐揚げ、牛ロースのレアカツなど、萩では珍しいメニューもあり、人気メニューとなっています。さらに、豊富なグラントメニューの他にも、季節替わりのメニューも用意され、常連になっても、メニュー制覇が難しく、飽きさせない構成となっています。

こだわりを聞くと「若い人たちが気安く来店できるように、ちよつと手の込んだ料理を安く提供する、萩にはない居酒屋がコンセプトです」と話し、磨いた腕を存分に発揮した逸品料理も、地酒からカクテルまでを取り揃えたドリンク類も、確かにチェーン店大衆居酒屋並みの値段で提供しています。

◆故郷を元気にしたい、地元を活性化したい

「いつかは自分の店を!とは料理人を志すと同時にありますが、どこに出店するかとは決めて

なく、いざ店を構える段階で、福岡に出そうか、萩に出そうか悩みました。地元に出そうと決めた理由は、若者が少なくなっている故郷を元気にしたい。大切な友達や育ててくれた母が住む地元を活性化したいという気持ちによるものでした」と話す戸川さん。

■めしやぶち

萩市東田町111-3中村会館1階

営業時間/平日18時~23時/週末18時~24時

定休日/不定休(だいたい日曜日)
TEL0838-22-1700



店内の様子



グループの社是である「社会から必要とされる企業」を追い求め続ける必要があると考えています。

■瀬戸内部品株式会社
・本社 岡山県加賀郡吉備中央町竹荘935-1
設立 2012(平成24)年3月
資本金 1千万円
・萩製造所 萩市椿東2660-1(松陰神社近く月見川沿い)

連載 萩の産業遺産を歩く(七)

江戸葛飾抱屋敷大砲製造場跡

道道真吾 (萩博物館主任学芸員)

江戸でも大砲を造っていた 長州藩

「萩」の産業遺産と銘打ちながら、今回は「江戸」の話になることをあらかじめお断りしたい。

大名は江戸に屋敷(藩邸)を複数もつことが通例であった。なかでも長州藩は、三十六万九千余石の大藩らしく、桜田に上屋敷、麻布に下屋敷、世田谷若林に抱屋敷を有していた。これらはよく知られた長州藩江戸屋敷であるが、葛飾(現在の東京都江東区)にも抱屋敷を有していたことは案外知られていない。葛飾抱屋敷の跡は、東京メトロ(地下鉄)東西線の東陽町駅から徒歩で数分のところにあり、大砲のミニ Monument が目印になる。つまり長州藩は、この地でも大砲を製造していたのである。

ちなみに、長州藩江戸屋敷は前記以外にも複数ある。時山弥八著『もりのしげり』に詳細な一覧表が掲載されているのでそちらに譲るが、大きく分けて、上・中・下屋敷は徳川将軍より藩が拝領したものの、抱屋敷は藩が町民や農民などから買い上げたものである。

葛飾抱屋敷の入手と規模

葛飾抱屋敷を今少し見せておこう。『もりのしげり』には、寛政二年(一七九〇)、砂村新田農民藤兵衛及び平井新田農民安右衛門より買い入れたと記載されている。その後この土地は、他藩へ譲ったり再び譲り受けたりと複雑な経緯をたどり、十代藩主毛利斉熙が隠居時にここで暮らした。弘化元年(一八四四)の調査時点で実質十万二千五百五十三坪(表向き三万五千四百七十四坪)という広大な土地であった。ただ、これだけではなかなかその規模をつかみにくい。

江東区役所公式ホームページに「長州藩大砲製造場跡ミニ Monument」という記事がある。長州藩の葛飾抱屋敷は、現在の江東区南砂二丁目三付近にあったというから、地図を確認してみると、集合住宅が複数棟建っているほか、区立南砂小・中学校、保育園・幼稚園などがすっぽりおさまっている。この区画が必ずしもそのまま葛飾抱屋敷と一致するわけではないが、長州藩がいかに広大な土地を占有していたかがわかる。

相州警衛に必要だった大砲

それでは、長州藩はなぜ江戸で大砲を造る必要があったのであろうか。長州藩領を守るだけなら、わざわざ千 km 以上も離れたところで大砲を造る意味はない。長州藩は、嘉永六年(一八五三)六月のペリー来航からまもない同年十一月、幕府から江戸湾防備を命じられたため、江戸で大砲を造る必要に迫られたのである。長州藩の江戸湾防備は、相模国の三浦半島を中心に担当したため、相州警衛もしくは相州警備と呼ばれている。

相州警衛を命じられた長州藩は、直ちに周布政之助を江戸から萩へ遣わし、人員と軍需品の算段を開始する。幕命であるから、早急に物資と人員を萩から輸送しなければならなかった。

警衛範囲は、相模国西浦賀(横須賀市)から腰越八王子山(鎌倉市)まで、三浦・鎌倉両郡のうち六十九カ村に及んだ。とくに三浦半島は江戸湾入り口にあたるとして非常に重要な場所であった。この広大な区域に、長州藩は約九百名にもぼる兵士を常駐させ

ていたのである(『修訂防長回天史』)。

江戸でも大砲を造った 郡司右平次

大砲に焦点を当てると、萩から相州に送る分では到底間に合わず、江戸での製造が課題として浮上した。このため、松本郡司製造所の経営者である郡司右平次が江戸に呼び寄せられた。右平次は、以前にも紹介した通り、松本の製造所で長大なペキサンス砲(ポンペカノン砲)を造った中心人物であるが、その一方では江戸でも大砲の製造に従事するなど、八面六臂の活躍をしていたのである。

郡司右平次は、安政元年(一八五四)の春先に江戸へ出た。その直前、長州藩は幕府より葛飾抱屋敷に大砲製造場を設置するなどの許可を得ており、右平次は、踏鞴と甕炉、つまり萩松本の郡司製造所と同じ在来技術でもって、洋式カノン砲を造ったとされている。その数は三十六門、佐久間象山の指導を得ることができたという。

元治元年(一八六四)の下関戦



江戸の大砲製造場跡に設置された「長州砲」ミニ Monument

争で長州藩の大砲が欧米列強に接収されたことはよく知られている。そのうち、江戸で製造された大砲がフランスに現存する。このいわゆる「長州砲」を世に知らしめたのは、先目お亡くなりになった古川薫氏である。その経緯は、古川氏著『わが長州砲流離譚』(毎日新聞社、二〇〇六年)に詳しい。パリのアンヴァリッド(廃兵院)にある「長州砲」は、長さ約三 m あり、毛利家の家紋「一文字三ツ星」とともに、「嘉永七歳次寅季春/十八封度/於江都葛飾別墅鑄之」の銘が刻まれている。この銘にある「葛飾別墅」は葛飾抱屋敷、つまり江戸における「長州砲」の生産拠点だったのだ。

道の駅・萩シーマーと通信 旬のお魚「萩のトビウオ」

夏の風物詩とも言える魚で、萩の魚市場には5月から姿を見せ始め、7月にかけて水揚げされます。漁の方法は主に定置網漁。萩沖には定置網がしかけてあるポイントがいくつかありますが、船で漁場へ向かい網をまきとりながら引きあげていくと、この時期マアジやケンサキイカに交じりトビウオが入っています。これらは漁師の手によって、早朝の競りに間に合うように水揚げ後、選別して箱詰めされ、市場に並びます。



トビウオ

海面を滑るように飛ぶトビウオ

トビウオは西日本から東シナ海に分布し、比較的水温の高い海の表層に生息しています。よく発達した胸ビレを広げて水中から飛

び出し、海面を滑るように飛ぶ性質があります。萩沖でも船で5分から10分くらい海に出ると、真っ青な海の上を飛行しながら泳ぐトビウオの姿を見ることが出来ます。飛行することに夏の日差しが反射してキラキラと輝きながら泳いでいます。

通常は海面から2メートルあたりの高さで、距離になると100〜200メートルほどを飛行しますが、天敵に追われると尾ビレを使って加速し400メートル飛ぶこともあります。運動量が多いせい、脂肪も少なく、その新鮮度が落ちにくく、身の締まった淡白な白身をしています。

トビウオは萩の縁起魚

西日本や日本海側では、トビウオのことを「アゴ」とも呼びます。同じトビウオでも、種類や頭の形、サイズの大きさから「丸アゴ」と「角アゴ」に分けられ、萩では大きなサイズのものを「角」と呼び、刺身にするなら「角アゴ」を選ぶのがお勧めです。

萩は新鮮なものが手に入るので、まずは刺身で食べます。脂質は少ないもののタンパク質を多く含む、すっきりとした身の味わいです。旬の時期は脂がのり、もちっとし

た食感もおいしさを引き立てます。刺身で食べるときは生姜醤油を用意するなど、お醤油に変化をつけて食べるのもお勧めです。最近ではフライにすることも多く、三枚におろしたトビウオの身を野菜を巻いて爪楊枝でとめ、油で揚げるロールフライはお子様向けの一品になります。

萩の家庭では、トビウオをすり身にして味噌汁に入れて食べる調理法が昔から馴染みがあるほか、あごのすり流し汁という郷土料理もあります。トビウオのすり身を出し汁でときのばし、鍋で煮てつくります。

トビウオの勢いよく飛ぶ姿を元氣な子どもの成長に重ね合わせ端午の節句に用いられました。トビウオは萩の縁起魚とされてきた魚種です。



トビウオの刺身

萩シーマーと

「松陰先生禁断の大福もち」販売

松陰先生の志を支えたお餅
できました

道の駅萩シーマーでは、幕末の思想家吉田松陰先生の食に関する史料をもとに、「松陰先生禁断の大福もち」を開発しました。

松陰先生は許可なしで脱藩して東北に行ったり、黒船に乗り込もうとしたり、勇猛な行動ばかり知られますが、その実は甘いものが大好きで家族や塾生想いの優しい人柄です。

そんな松陰先生のエピソードから誕生した大福もちを、明治維新150年に合わせて、4月27日から販売開始しました。

「お餅」の弾力と味わいで 餡を包む

一番のポイントは松陰先生が好きな「餅」の生地。もち米をついて粘りをだし、餅本来の弾力と味わいを活かした食感が特徴です。塩を入れることで米の味を引き立たせ、柔らかさを持続させるため、蒸してもちをつく作業を2度繰り返す製法で作っています。

ケースには1個につき1つの松陰先生のことばと解が入っています。全部で12種類。どれが当たる

かは開けてからのお楽しみ。
一個 150円（税込）

冷凍便で地方発送します

■注文先 道の駅萩シーマーと
(0838・24・4937)

■お支払い方法 代金引換発送

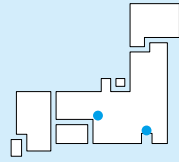
商品代+クール送料+代引手数料
が必要となります。

■お届け後の解凍方法 自然解凍
ケースに入れたまま常温で約3時
間おかれると食べごろです。解凍
後2日以内にお召し上がりくださ
い。



松陰先生禁断の大福もち

同窓会・同郷会だより



情報
ください！

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿

4月18日 大阪迎賓館(大阪府)

萩高校21期(昭和44年卒) 関西地区第7回同期会



平成17年に関西地区の同期会を創設しました。2年サイクルで、大阪、京都、神戸で開催しています。今回で7回目となり、過去6回の参加者は平均30名でしたが、今回は51名となり驚きました。近畿から24名、山口・広島県より16名(うち萩から9名)、関東より11名の参加がありました。

関西地区同期会への初参加者は14名あり、「50年ぶりに会えた」、「来てよかった」など嬉しい声がたくさん聞きました。当日はお天気に恵まれ大阪城をバックに素晴らしい記念写真が撮れました。次回2年後は京都です。また皆さん元気にお会いしましょうと約束しました。

大阪世話人 増山宗一郎(大阪府)

会員投稿

4月8日 銀座・吉乃翔(東京都)

指月中8期(昭和30年卒) 卒業関東地区在住者の集い



時候も変わる4月初め、今年も指月中8期関東在住者の集いを、萩一中卒の横浜市在住・大田陽夫さんの参加も得て、アルマーニの制服導入で話題となった泰明小学校そばの会場で、傘寿まであと2年の11名が写真のように元気に再会しました。

会は、茨城県在住・渡辺紀子さんの乾杯で始まり、一同、近況や思い出に楽しい時を過ごす中、また再会の約束を交わし、校歌「花吹雪く若草の上に…」を唄って別れた一日でした。

山口雄三(神奈川県)

萩市・阿武町内高校卒業者の進路状況

学校名	卒業 者数	大学		就職		専修学校ほか	
		全体	うち萩市	全体	うち萩市	全体	うち萩市
萩商工高校	137人	14人	0人	99人	19人	24人	2人
萩高校	148人	135人	0人	5人	2人	8人	0人
萩光塩学院高校	47人	17人	4人	11人	9人	11人	0人
奈古高校	25人	1人	0人	19人	8人	5人	0人
合計	357人	167人	4人	134人	38人	48人	2人

今年3月に卒業した萩市と阿武町の高校の卒業生は357人で、そのうち萩市内に残ったのは、就職38人、大学4人、専修学校など2人の合計44人で卒業生の12%でした。9割弱の若者が、市外・県外へ進学・就職しました。

萩・阿武の高校卒業生
357人のうち、萩に残るのは12%

■萩商工高校

卒業生137人のうち、就職が99人(72%)、進学は38人(28%)。都市部の好景気を反映し、トヨタ自動車、前田道路、安藤・間、山口銀行、西京銀行などに就職。求人数は約12倍だった。都市部への就職が増加傾向となり、山口県内の就職は5割(昨年は6割)。萩市に残るのは就職・進学合わせて21人(15%)。

■萩高校

卒業生(現役)148人のうち、135人(91%)が大学進学。専修学校などの進学が8人、就職3人。合格者の内訳は、国立大学が31人、公立大学が18人、私立大学が129人(重複あり)。難関大学では、東京工業大学、名古屋大学、九州大学、山口大学医学部などに合格。

■萩光塩学院

卒業生47人のうち、大学進学は17人(36%)、専修学校など進学が11人、就職は11人。進学では、看護系の専門学校や大学が引き続き人気。萩市に残るのは就職・進学合わせて13人(27%)。

■奈古高校

萩高校奈古分校では、最後の奈古校生が卒業。卒業生25人のうち19人が就職、6人が進学。

移住や交流のための まちの玄関 「阿武町暮らし支援センター」が開所

DIYで生まれ変わった施設をすまい・ひと・しごこの拠点に

かつては薬局として、店舗兼住宅であった空き家が、様々な人の手で改修され、阿武町の移住や交流のためのまちの玄関「阿武町暮らし支援センター」(通称シバノ)として生まれ変わり、4月21日に開所式を迎えました。

式典で花田憲彦町長は「人口減少に立ち向かうため平成27年に阿武町版総合戦略」「選ばれる町」をつくるを策定した。すまい・ひと・しごとの3つのキーワード



奈古の薬局を改修して「阿武町暮らし支援センター」に

のもと、それぞれの対策の拠点がこの支援センターとなる。ラボメンバーによるDIYなどで生まれ変わったこの建物は大きな社会実験でありチャレンジとなる。皆さんからの意見を聞きながらしっかりとその役割を果たして欲しい」と話しました。

**町内外の人に気軽に立ち寄っても
らえる交流の拠点に**

窓口担当となるのは、集落支援員の吉岡風詩乃さん(萩市在住・28歳、萩高校平成20年卒)。阿武町福賀出身で、地域おこし協力隊員が開業したバー「下請酒場BARフジヤマ」で店長も務める吉岡さんは「町内外のいろんな人に気軽に立ち寄っていただけるよう、笑顔を大切に、地域の交流拠点の役割を果たしていきたい。奈古



窓口担当の吉岡風詩乃さん



「家の未来帖」

浦地区の集落点検業務も担うので、集落の方にはいろんな事を教えていただきたいです」と意気込みを語りました。

家の未来を考えるきっかけづくり

21世紀の暮らし方研究所から「家の未来帖」が発行されました。この冊子は、家を所有する全ての方へ、家の今後について考えていただく5つの提案をさせていたでています。今後、「阿武町暮らし支援センター」においてもこの冊子を活用したワークショップの開催を予定しています。

■阿武町暮らし支援センター
開所日時 火・木・土曜日、午前9時～午後5時
阿武町奈古2700・1
TEL083388・23388

「萩・明倫学舎からお伝えする萩物語」

萩・明倫学舎の本館・2号館は昨年3月にオープン、平成29年度4月から今年3月までの1年間で約30万2千人が来館した。このうち約10万2千人が有料の2号館を訪れた。

**喫茶コーナー「Mad o」
がオープン**

本館1階の観光インフォメーションセンター内に、喫茶コーナーが誕生しました。夏みかんジュースは、萩特産の夏みかんを使っています。ほっと一息、ぜひお立ち寄りください。
メニュー ホットコーヒー150円、夏みかんジュース200円、ソフトアイス280円など



喫茶コーナー「Mad o」

「幕末ミュージアム展示品案内」発行

撮影禁止を除く全ての幕末ミュージアムの展示品と説明文を

収録しています。

内容 天文、地理(測量)、医学、技術(機巧)、動乱(幕末)、軍装、鉄砲、大砲
A4判、88ページ、1000円



「幕末ミュージアム展示品案内」

「スタッフが薦める萩・明倫学舎の見どころ」発行

萩・明倫学舎に行ったら何があるの?という問い合わせがあることから、館内外の各ポイントの見どころを、スタッフなどが分かりやすく説明しました。

藩校明倫館の遺構・石碑、保存整備工事などについても解説。
A5判、83ページ、400円
2冊ともお土産ショップで販売しています。インターネットでもお買い求めいただけます。「NPO 萩明倫学舎 ショップ」で検索。



「スタッフが薦める

萩・明倫学舎の見どころ」

情報アラカルト

関東地区

■東京指月会

10月27日(土) 午後2時30分
東京都千代田区丸の内(東京駅丸の内北口) 日本工業倶楽部
(03・3471・0286) 東京指月会事務局(松本方)

■「納富晋作陶展」三代鳥雲継承展

納富晋の新作・新シリーズ発表。
8月1日(水)〜7日(火) 午前10時〜午後7時
東京都中央区日本橋幸町1・4・1 日本橋三越本店 本館6階美術特選画廊
(03・3274・8472)

■「萩 次世代の陶」

岡田泰、坂悠太、田原崇雄、坂倉正紘、新庄紹弘の作陶展。
8月8日(水)〜14日(火)
神奈川県横浜市西区南幸1・6・31 横浜高島屋 7階美術画廊
(045・311・5111)

関西地区

■下瀬信雄写真展

「蛇目舞(jamais vu)」
6月28日(木)〜7月4日(水)
午前10時30分〜午後6時30分
大阪市北区梅田2・2・2
ヒルトンプラザウエスト・オフィ

スタワー13階

大阪ニコソロン

(06・6348・9698)

中国地区

■つばき会広島支部

広島地区の萩商工同窓会。

7月14日(土) 午後6時30分
広島市南区金屋町1・17

ワークピア広島(旧広島労働会館)

(080・6332・1159)

土佐岡

■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。

8月4日(土) 午後3時
広島市南区的場(広島駅から徒歩5分)

ホテルセンチュリー21広島

(090・4659・2164) 北

東

■「三輪和彦展」立ち立つ白

三輪和彦の個展

8月29日(水)〜9月4日(火)

岡山市北区表町2・1・1

岡山天満屋 5階美術画廊

(086・231・7523)

九州地区

■九州指月会

九州地区の萩高同窓会。

9月9日(日) 正午

福岡市博多区博多駅(筑紫口すぐ)

ホテルセントラーザ博多

(093・201・6303) 廣瀬

山口県関係

■明治150年記念特別展「激動の幕末長州藩主 毛利敬親」展

幕末の長州藩主・毛利敬親の視点で、明治への社会変革の流れをたどる。坂本龍馬が「薩長同盟」締結を証明するために裏書きした木戸孝允の書簡などを紹介。

7月13日(金)〜8月26日(日)

観覧料 一般1300円、70歳以上・学生1100円、18歳以下無料

山口市亀山町3・1

山口県立美術館

(083・925・7788)

■第35回全国都市緑化やまぐちフェア「山口ゆめ花博」

9月15日(土)は市町デーとして萩市が出席します。

9月14日(金)〜11月4日(日)

山口きらら博記念公園

シャトルバス(新山口駅より約20分、山口宇部空港より約35分)

入場券 大人1200円(前売900円)、高校生800円(600円)、小・中学生600円(500円) 前売券販売中。

山口ゆめ花博事務局

(083・933・4805)

萩市関係

■萩高同窓会八八会

萩高指月会の本部総会。今年の引受期は55期(平成15年卒)。

8月8日(水) 午後7時〜9時

萩高校体育館

(0838・22・0076) 萩高

■萩光塩学院同窓会本部総会

萩光塩学院小中高の合同総会。

8月10日(金) 午後6時30分

萩市土原608・53 萩の宿 常

茂恵

(0838・22・0782) 光塩

■須佐男命いか直売市

漁師が直接活かしたままのケンサキイカを販売する恒例イベント。

7月1日(日)〜9月30日(日)

毎週土・日曜日と7月27日(金)

の「須佐男命いか祭り」に開催

午前9時30分〜11時30分(売切れ

要申込(7月9日まで)。

■萩・明倫学舎の行事

約90坪の廊下をリレー形式で行うタイムトライアル。小学生対象

郵便局のみまもりサービス

○ みまもり訪問サービス

郵便局社員等(弊社が委託した者を含みます。)が、月1回、ご利用者宅を訪問し、会話を通じてご利用者の生活状況を確認し、ご指定の報告先に電子メール(PDFファイル)でご報告します。

- ・確認項目は10項目(7項目+選べる3項目)
- ・報告先は最大3名
- ・サービス料金: 2,500円/月(税抜)



○ みまもりでんわサービス

毎日、ご指定の電話番号へ、電話をお掛けし、自動音声に対する回答をご指定の報告先に電子メールでご報告します。

- ・「本日の体調はいかがですか」という自動音声の流れます。
- ・回答選択肢は「元気です」、「いつも通りです」、「元気ありません」
- ・報告先は最大4名
- ・固定電話コース: 980円/月(税抜)
- ・携帯電話コース: 1,180円/月(税抜)



お申込み等、詳細は萩郵便局(総務部)まで!
電話 0838-22-0681

萩・明治維新150年祭

■白河戊辰150年記念交流事業
「甦る仁のこころ」合同慰霊祭

7月14日(土) 福島県白河市

■萩市民号「山尾庸三が造船を学んだ地」グラスゴーを訪ねて

7月22日(日)～28日(土)

■明治150年特別展「手塚治虫が描いた明治維新」

9月15日(土)～10月14日(日)
萩博物館

■萩・明治維新150年記念式典・特別記念講演

10月23日(火) 午後5時～6時30分、萩市民館大ホール
講師はノーベル生理学・医学賞受賞者の山中伸弥教授、演題は私の修業時代・未来を切り拓く力とは
申込 8月1日～31日に往復ハガキで萩市教育委員会文化・生涯学習課まで
問い合わせ 萩市企画政策課
(08388・25・3102)

新規(再)加入会員

柴田眞治 (萩市)
入江一子 (東京都杉並区)
増山宗一郎 (大阪府枚方市)
小野雅由 (周南市)
NPO萩明倫学舎 (萩市)

7月21日(土) 午前10時～午後3時(予定)

・公開講座「小川星吉集」

幕末ミュージアム展示品の寄贈者・小川忠文さん(下関市)による「小川コレクション」初めて明かす裏はなし。

7月29日(日) 午後1時30分～
問い合わせ NPO萩明倫学舎
(08388・21・0304)

テレビ・映画

■「COOL JAPAN 発掘! かつこいいニッポン」地域スペシャル「山口県スペシャル」(仮)

山口県の昨年の外国人訪問者数は、47都道府県中40位と大苦戦。山口在住の外国人が集結し、日本人でも気づかない山口の意外な魅力、世界に通じるスポットを案内し徹底討論。萩市国際交流員のエマ・ヒロさん(英国出身)が出演。
NHK・BS1
放送予定 7月22日(日) 午後6時～6時49分

■映画「OVER DRIVE」

徳瀬博子 (大阪府貝塚市)
宮本進二 (大阪府高石市)
山根貞雄 (大阪府堺市)
大田昌幸 (兵庫県西宮市)
見嶋勝治 (兵庫県神戸市)
中原幸司 (大阪府吹田市)
(4月21日～6月20日) 11人

オーバードライブ

萩市出身の俳優、松本実が出演。

美祿市の秋吉台、宇部市の湾岸道路でも撮影。

6月1日から全国ロードショー公開中。

募集

■第19回維新の里 萩城下町マラソン

ゲストラランナーはシドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さん。発着点は萩ウエルネスパーク(萩市椿)。世界文化遺産の町並みを走る。ハーフマラソン(高校生以上)、5キロ(中学生以上)など。参加賞は記念Tシャツ。専用振込用紙での参加申込は7月10日～31日。大会ホームページでは8月31日まで受付。先着順。参加料は一般4千円。
問い合わせ 萩市スポーツ振興課
(08388・25・7311)

「マリーナ萩」営業推進部長

萩市椿東・後小畑地区にある株式会社マリーナ萩は、山口県が潟港に整備したマリーナ施設の管理を行うこと等を目的に、平成6年に設立された。
募集人員/1人
業務内容/マリーナ経営の司令塔利益を上げるための仕組みの構築雇用形態/正社員(採用の日から3カ月間は試用期間)
採用予定日/平成30年11月1日

給与 月額28万円程度(経験、資格により配慮)

募集期間/6月1日～8月20日
申込方法/応募書類(申込書・履歴書)を郵送または持参
選考方法/書類選考、面接
問い合わせ 〒758・0011
萩市椿東6080・6 (株)マリーナ萩 (08388・26・5005)

お知らせ

■萩市内の観光駐車場 駐車料金
が2カ所目以降、無料に

萩・明倫センター駐車場、萩博物館前駐車場、中央公園駐車場、同日の2カ所目以降の駐車料金が、7月1日から萩市外からの乗用車も無料となります。1カ所目の領収書を2カ所目以降でご提示ください。

■萩暮らし応援センター Facebook開設

SNSを活用した「萩暮らし」の魅力や先輩移住者の取組等の情報発信を行うため、5月に「萩暮らし応援センター」のフェイスブックを開設した。移住イベント・セミナーの告知、空き家情報バンクの最新物件情報など最新の情報を紹介。
問い合わせ 萩市地域づくり推進課 (08388・25・3360)

プレゼント

①道の駅萩任還提供の入浴剤「萩

のかおり風景」夏みかんの花・椿2種類を2名様

②山口県立美術館「激動の幕末長州藩主 毛利敬親」展の招待券を2名様

■応募方法 ハガキに品名、住所、氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。7月20日必着。

編集後記

・最近みたアメリカ映画から。ベトナム戦争時の国防総省機密文書が1971年流出し新聞紙がスクープ。報道の自由を描いた「ベントゴン・ペーパーズ」。女子フィギュアスケートでライバル選手にケガを負わせた94年の襲撃事件を描いた「アイ、トーニャ」。

日本の財務省の文書改ざん・廃棄、日大アメフト部の問題をどうしても連想してしまう。曖昧にすることが決まり、誰も責任を取らないことが多い。根拠も示さず、証拠や証言を否定するトップの姿勢が、この国のあちこちに投影されているような気がする。

・日本映画では、大阪・泉南(せんなん)アスベスト国賠訴訟裁判を闘う患者たちの姿を通して国家のごまかしを描く「ニッポン国VS泉南石綿村」。87年に「ゆきゆきてて神軍」、99年に萩で「わたしの見島」を撮った原一男監督、ドキュメンタリー魂は健在!
(広報特別参与 山本章三)

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,590人(2018年3月末現在)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 7月14日(土)～8月23日(金) 9:00～17:00
◇むつみ昆虫王国 むつみ昆虫王国
- 7月21日(土) 20:00～
◇なご夏まつり 奈古漁港周辺
- 7月27日(金) 9:00～15:00
◇須佐男命いか祭り 須佐漁港
- 7月28日(土) 20:00～21:00
◇須佐湾大花火大会 須佐漁港
- 7月29日(日) 10:00～15:00
◇ひまわりロードフェスタ ひまわりロード(むつみ)
- 8月1日(水)～3日(金)
◇萩夏まつり 住吉神社・吉田町ほか
- 8月1日(水) 20:00～21:00
◇萩・日本海大花火大会 萩商港、菊ヶ浜周辺
- 8月13日(月) 19:30～22:00
◇萩・万灯会(迎え火) 大照院
- 8月25日(土) 17:00～21:00
◇たまがわ夏まつり 山口県漁協江崎支店前

トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

7月22日(日)、29日(日)、8月23日(木)
8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発(予定)

萩・明治維新150年祭 萩夏まつり

萩YEG創立50周年パレード ～半世紀の出会いに感謝～

8月2日(木) 18:00スタート

萩美術館浦上記念前交差点～礼場跡経由～西京銀行前交差点

萩商工会議所青年部は創立50周年を迎えます。50年間の感謝の気持ちを込めパレードを開催します。

明倫小学校マーチングキッズ



椿東小学校金管・カラーガードクラブ



東京ディズニーリゾート® 35周年スペシャルパレード

開園35周年を迎えた「東京ディズニーリゾート」から皆様へ感謝の気持ちを伝えるために、ディズニーの仲間たちが、萩夏まつりの萩YEG創立50周年パレードにやってきます。



※東京ディズニーリゾートでは2019年3月25日まで「東京ディズニーリゾート35周年 "Happiest Celebration!"」を開催しています。

※パレードは悪天候等により中止、一部内容変更の可能性があります。画像はイメージです。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

「山東のやきものを楽しむ」展

6月5日(火)～7月16日(月・祝)

山口県・山東省の友好協定35周年を記念して開催。山東省ゆかりのやきもの約100点を紹介。

「フランス宮廷の磁器 セーブル、創造の300年」

7月24日(火)～9月24日(月・振休)

300年近くに及ぶセーブル磁器の創造の歴史を、18世紀から現代まで各時期を代表するセーブルの名品を紹介。

■開館時間 毎週金曜日は午後7時まで(通常は午後5時まで)

■観覧料 一般1,200円、70歳以上、学生1,000円、18歳以下は無料

■休館日 6月18日、7月9日、8月6日、20日、9月10日いずれも月曜日



萩博物館だより

☎0838・25・6447

特別展「深海魚大行進」

6月23日(土)～9月2日(日)

夏の親子向け恒例行事の夏期特別展。今年のテーマは「深海魚」。萩博物館に蓄積された秘蔵標本に、東京海洋大学マリンサイエンスミュージアムから借用した世界各地の標本コレクション群を合わせ、約3,000点を公開する日本最大級の深海魚展。

注目の展示は、西日本最大級の「リュウグウノツカイ」、図鑑でしか見られない「ベンテンウオ」。

■観覧料 一般510円、高校・大学生310円、小・中学生100円

■休館日 なし(年中無休)

■ナイトミュージアム 7月21日、8月11日、18日の土曜日、午後6時～9時

